

2012年7月14日

矢掛高校

V S

真庭高校

(@美星グラウンド)

	1	2	3	4	5	6	7	8	8	9	計
真庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
矢掛	0	2	0	0	0	0	0	0	0	×	2

矢： 川合・那須陽 — 林

矢掛高校の先発は2年生の川合（矢掛中）。

1回表、真庭高校の攻撃。1死から安打を許すも、捕手の林（真備東中）が盗塁を刺し、初回を3人で押さえる。

1回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の片岡（矢掛中）が3塁ベース直撃の内野安打で出塁すると、2番・長谷川（美星中）の犠打で1死2塁の先制のチャンス。3番・岡本将（美星中）の遊撃手への内野安打で1死1・3塁にさらにチャンスが広がる。ここで、四番・林が死球となり、満塁となるが後続が倒れ、先制のチャンスを逃す。

2回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の富岡（総社東中）がセーフティーバントで出塁すると、1死後、9番・那須健（真備東中）の左越えの二塁打で1塁走者の富岡が一気に生還する。続く、片岡の左前打でチャンスを広げ、代打・佐藤（矢掛中）の内野ゴロの間に1点を追加する。この回、矢掛高校は2点を先制する。

3回表、真庭高校の攻撃。この回から登板した那須陽（真備東中）が無難に抑える。

4回表、真庭高校の攻撃。失策などからチャンスを迎えられる、右翼手・岡本錬（美星中）の好送球もあり、無得点に抑える。

4回裏、矢掛高校の攻撃。6番・松森の中前打でチャンスを迎えるが、後続が抑えられ、追加点ならず。

6回裏、矢掛高校の攻撃。松森、塩野（真備中）が出塁し、チャンスを迎えるが、バントの失敗なども響き、追加点ならず。

8回裏、矢掛高校の攻撃。1死後、代打・遠野（総社東中）が四球で出塁するも、またもバントの失敗から得点ならず。

9回表、真庭高校の攻撃。ランナーを出しながらも、粘りの投球を続ける、主戦・那須陽は、四球から牽制悪送球と自らの野選も重なり、1点差に詰め寄られ、なおも1死2・3塁の逆転のピンチを迎える。この試合、最大の山場に落ちて後続を討ち取りゲームセット。

矢掛高校は2－1で勝利した。

たくさんの応援、ありがとうございました。週末からは私たち3年生にとって集大成となる大会が始まります。熱い応援をよろしくお願いいたします。

マネージャー：坪井

第57回全国高等学校軟式野球選手権大会岡山県大会について

日時：7月21日（土） 10：00～

会場：勝山運動公園野球場

対戦校：岡山学芸館高等学校